

木製バックカウンター 組立説明書



注意 安全に正しく組み立ててください。

- ① 組み立ては2名以上で行ない、作業スペースの確保、床の養生を行なった後、安全に作業してください。
- ② 組立時は切傷・打撲を防ぐため軍手を着用してください。



ストア・エクスプレス (株) 店研創意
https://www.store-express.com/

お問い合わせ窓口
(カスタマーサービス)

TEL. (06) 6203-6660
FAX. 0120-933-530

完成例 ※商品によりサイズが異なります。



本品をご購入頂きまして、ありがとうございます。
組み立て前に、部品数量をお確かめください。
この組立説明書は大切に保管してください。
※仕様につきましては予告なく変更する事があります。



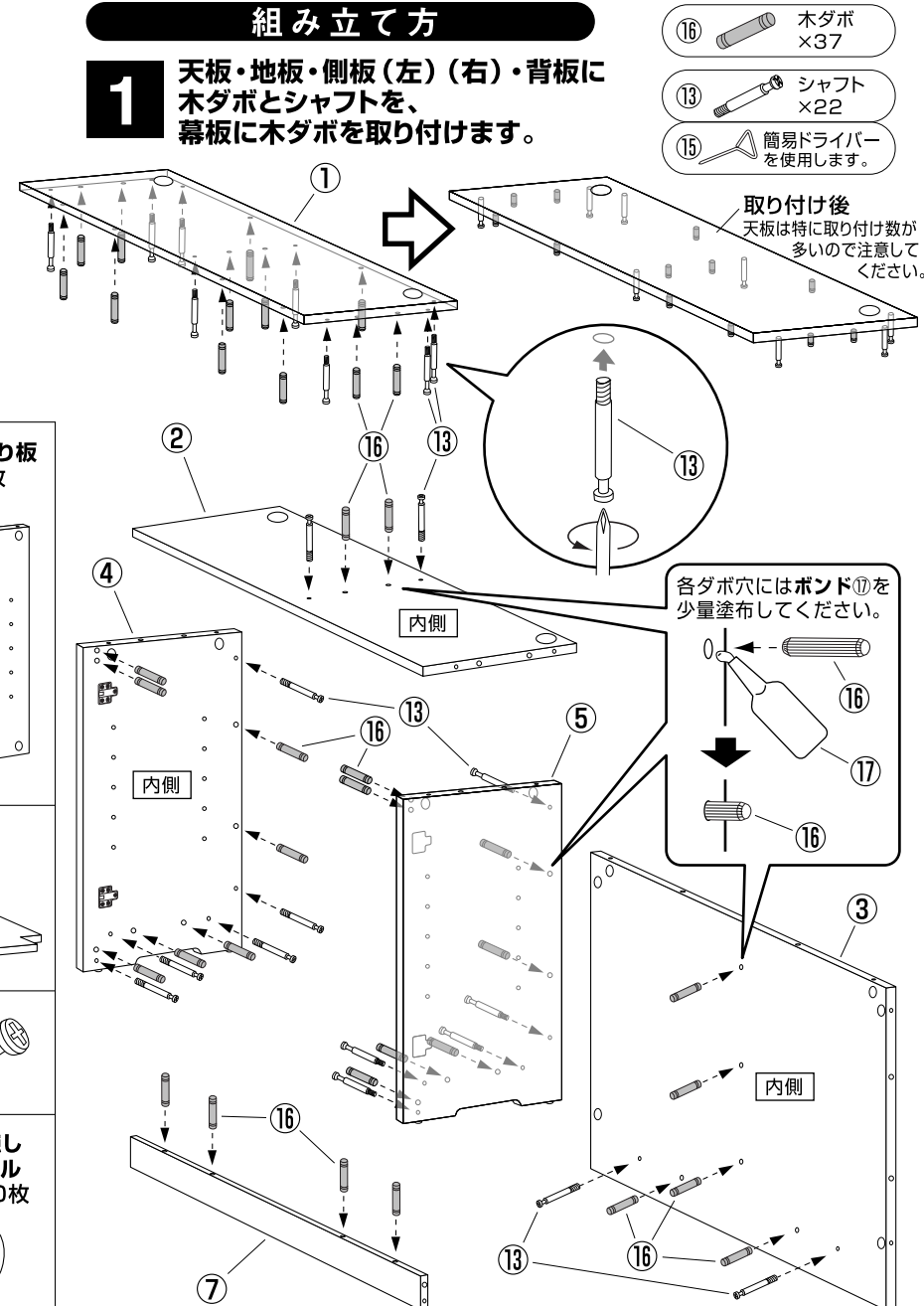
部品明細 ※商品によりサイズが異なります。

※部品不足、仕様上の不備等ございましたら上記カスタマーサービスまでお申し付けください。

① 天板 ×1枚 	③ 背板 ×1枚 	④ 左側板 (アジャスター付き) ×1枚 	⑤ 右側板 (アジャスター付き) ×1枚 	⑥ 仕切り板 ×1枚
② 地板 ×1枚 ※商品によりサイズが異なります。	⑦ 幕板 ×1枚 	⑨ 左扉 ×1枚 	⑩ 右扉 ×1枚 	⑪ 可動棚 ×2枚
⑧ 戸当たり ×1枚 ※商品によりサイズが異なります。	⑫ 棚受けダボ ×8個 	⑬ シャフト ×23本 (予備1含む) ※商品によりシャフト、カムの形が異なります。	⑭ カム ×23個 (予備1含む) 	⑮ 簡易ドライバー ×1本
⑯ 木ダボ (φ8mm L=30) ×38本 (予備1含む) 	⑰ ボンド ×1本 	⑱ 穴隠しシール ×30枚 		

組み立て方

1 天板・地板・側板(左)(右)・背板に木ダボとシャフトを、幕板に木ダボを取り付けます。



木製バックカウンター 組立説明書

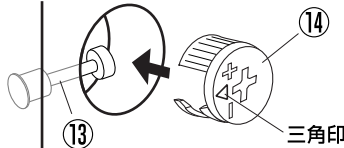
2 地板に仕切り板を取り付けます。

地板を床に置いた状態で組み立ててください。

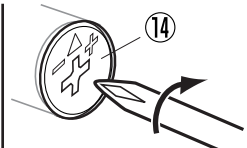
- ⑭ カム ×2
- ⑮ 簡易ドライバーを使用します。

図1

1 三角印の向きをシャフト⑬挿入側に揃えて、カム⑭を差し込みます。



2 ドライバーで十字部を回すと固定できます。

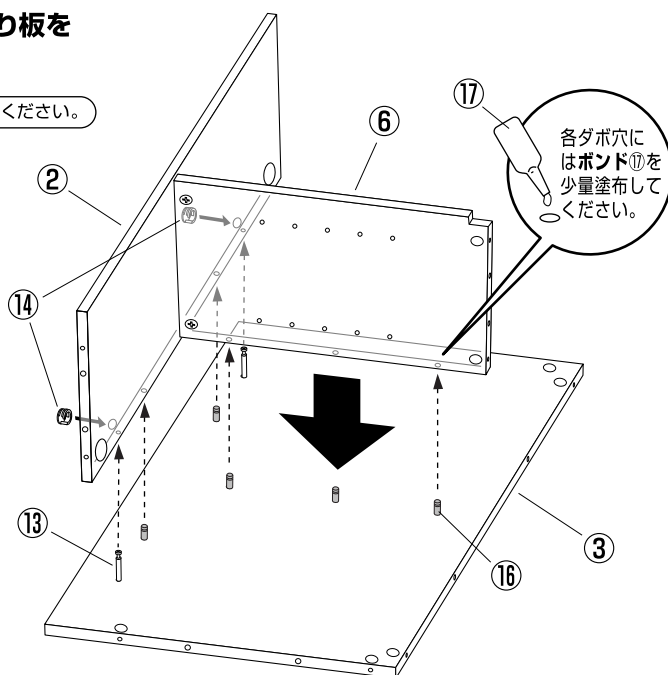


3 背板に地板+仕切り板を取り付けます。

背板を床に置いた状態で組み立ててください。

2の「図1」の方法で固定します。

- ⑭ カム ×2
- ⑮ 簡易ドライバーを使用します。



欠き取り
がある方が
手前側です。

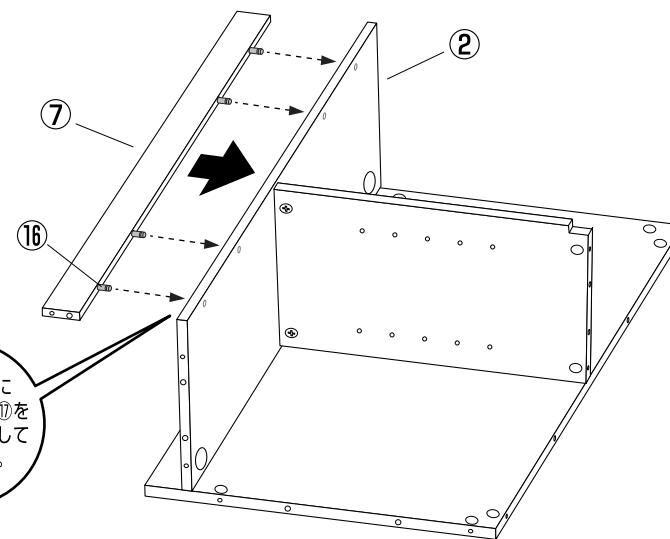
各タボ穴には
ボンド⑰を
少量塗布して
ください。

手前側 ⇄ 奥側

配線用の
穴ある方が
奥側です。

4 地板に幕板を取り付けます。

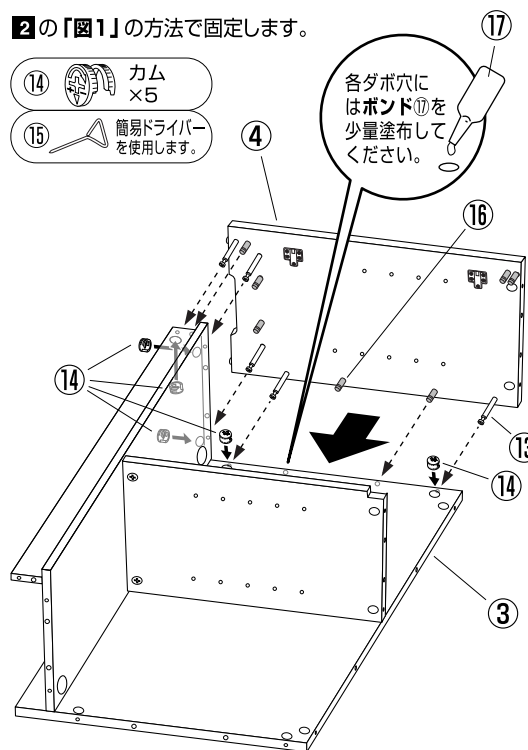
各タボ穴には
ボンド⑰を
少量塗布して
ください。



5 片側の側板を取り付けます。

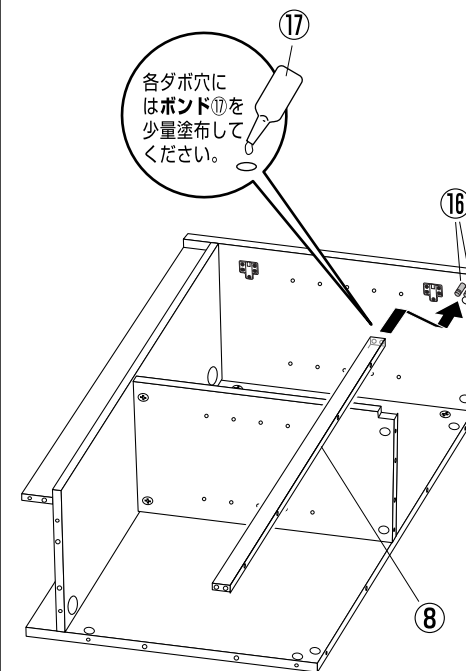
2の「図1」の方法で固定します。

- ⑭ カム ×5
- ⑮ 簡易ドライバーを使用します。



6 側板に戸当たりを取り付けます。

各タボ穴には
ボンド⑰を
少量塗布して
ください。

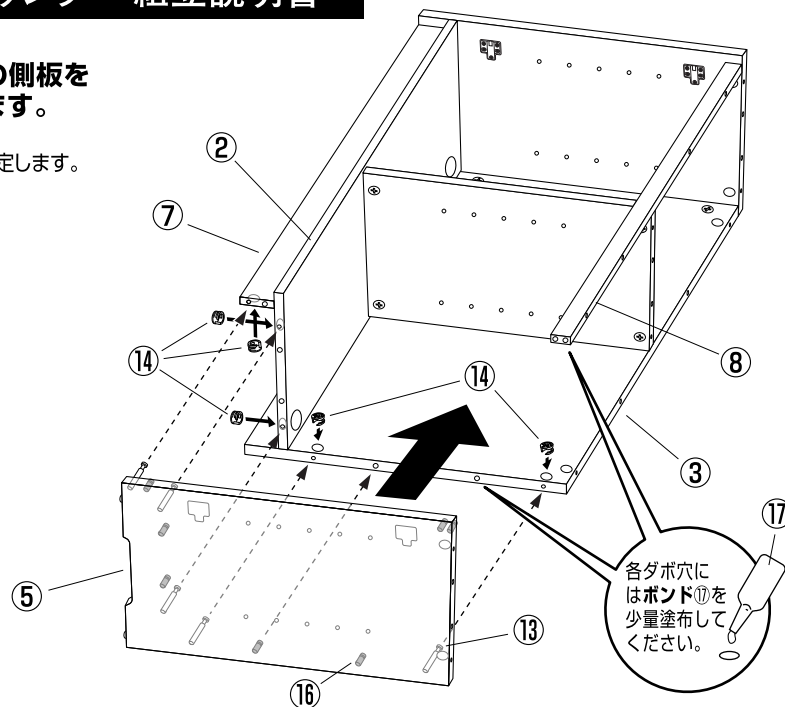


木製バックカウンター 組立説明書

7 もう片側の側板を取り付けます。

2の「図1」の方法で固定します。

- 14 カム ×5
- 15 簡易ドライバーを使用します。

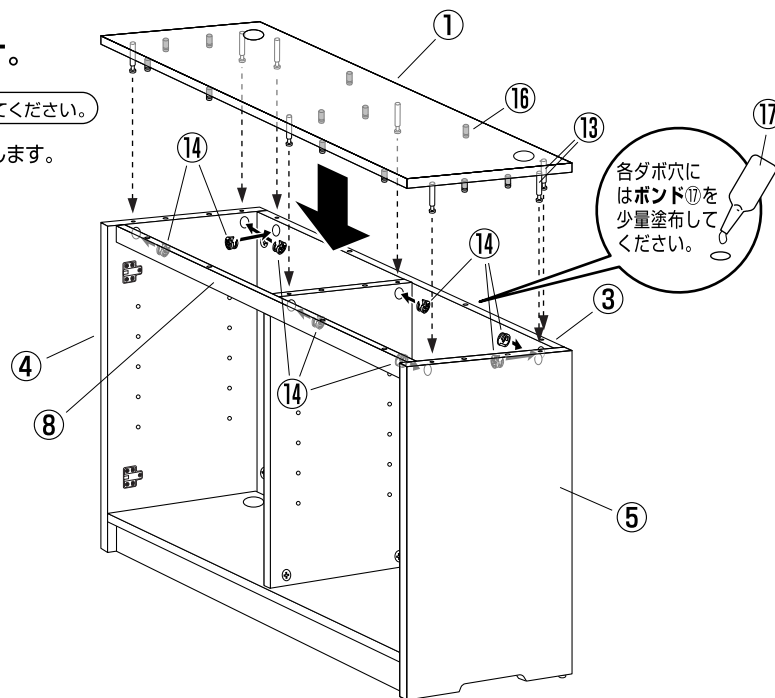


8 天板を取り付けます。

立たせた状態で組み立ててください。

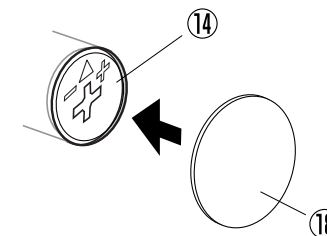
2の「図1」の方法で固定します。

- 14 カム ×8
- 15 簡易ドライバーを使用します。



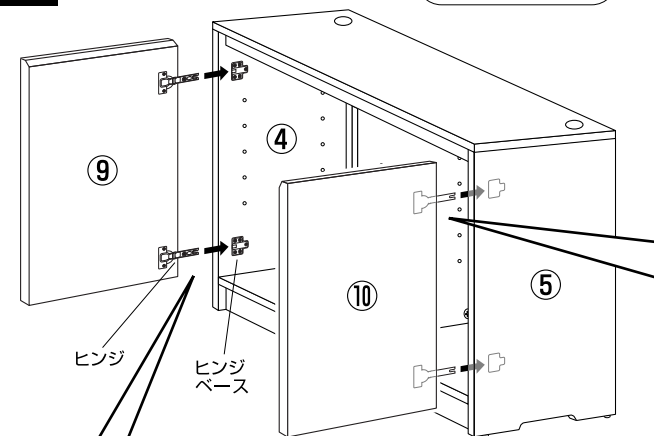
9 隠しシールを貼ります。

カム⑭の取り付け箇所に貼り付けてください。

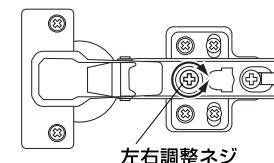


10 扉を取り付けます。

- 15 簡易ドライバーを使用します。

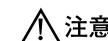


扉(ヒンジ)の調整



右に回すと内側に、左に回すと外側に扉が動きます。

左右調整



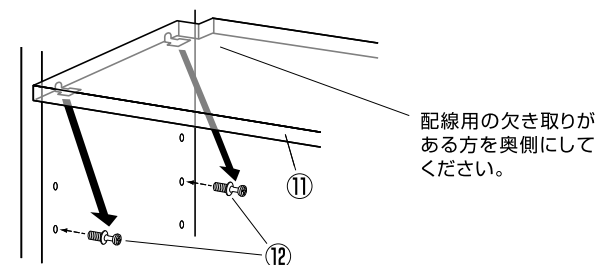
注意
調整ネジには電動ドライバーを使用しないでください。

扉の取り付け方

- 1 固定ネジ
ヒンジベースの固定ネジをゆるめます。
- 2 ヒンジ
ヒンジを凹部の奥に固定ネジが突き当たるまで差し込みます。
- 3 固定ネジ
固定ネジを強く締めた後、扉の開閉に問題が無いが確認してください。(調整は上記参照)

11 可動棚2枚を取り付けます。

- 12 棚受けダボ ×8
- 15 簡易ドライバーを使用します。



最後に全てのネジが固定されているかご確認ください。アジャスターを調整して水平を保ち、安全にご使用ください。